

2020年度環境への取り組み結果

(2020年から2022年の3ヵ年計画:初年度版)

《ISO14001:2015認証取得工場:伊勢工場群の結果》



ISO14001事務局

2021年4月

第1版

2020年度の取り組み

●2020年度 環境目的

1. 地球温暖化防止のため、生産時のエネルギー使用量（原油換算値）を3年間で10%削減（2019年比、生産高比）します。
2. 製品のライフサイクルで発生する炭酸ガスの発生抑制をします。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質の使用量を3年間で33%削減（生産高比）します。（2019年度値をベンチマークとします。）
5. 一般廃棄物、産業廃棄物を3年間で10%削減（生産高比）します。（2019年度値をベンチマークとします。）
6. 地球保全の重要性を高揚するため、地域活動を活発にすると同時に、省エネに努めます。

●2020年度 環境目標

1. 炭酸ガス発生量削減のため、次の事柄を実施し3.0%（2019年比、生産高比）削減します。
 - ①室温管理を徹底し省エネします。（冬季18℃夏季28℃）
 - ②不要機器の電源切断、エア漏れ防止など節電に努めます。
 - ③ 機器の省エネ化を推進します。
2. 新製品について、7%以上の長寿命化を行います。
主要材料・資材の使用率を向上し、材料による炭酸ガス発生量を減らします。
ムダの排除活動を推進します。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質については、8.0% （2019年比、生産高比）削減します。
5. 廃棄物については、次の事を行い、4.0%（2019年比、生産高比）削減します。
 - ①一般廃棄物 プラスチック、紙の分別を徹底し、一般廃棄物の削減を図ります。
 - ②産業廃棄物の発生抑制を推進します。
 - ③産業廃棄物の再利用化・再資源化を推進します。
6. 環境保全のための地域社会への貢献活動を4回／年、します。（5月、7月、9月、11月）
地方自治体等からの環境保全活動の要請に対し積極的に参加します。
全ての従業員はアイドリングストップなどの省エネルギーに努めます。

《炭酸ガスの発生量》 目標に対する結果（Ⅰ）

【年度目標】 エネルギー使用量の削減 ≪原油換算値で基準年度より3.0%削減（生産高比）≫

※生産高比（係数）とは、使用量や排出量が生産変動による影響が大きく起因することから、それぞれの使用・排出量を工場生産量などの要素で比率を求めた数値です。

◆目標に対する結果

	玉城工場	伊勢工場	ドアクローザ	伊勢工場群	目 標	目標生産高比	結 果		
	使用量kl	使用量kl	使用量kl	使用量kl			生産高比	削減率	
2019年度(基準)	4,771	323	702	5,796	(基準)	*	0.55	*	*
2020年度	4,430	267	521	5,218	-3.0%	0.53	0.56	2%上昇	未達成
2021年度					-7%	0.51			
2022年度					-10%	0.49			

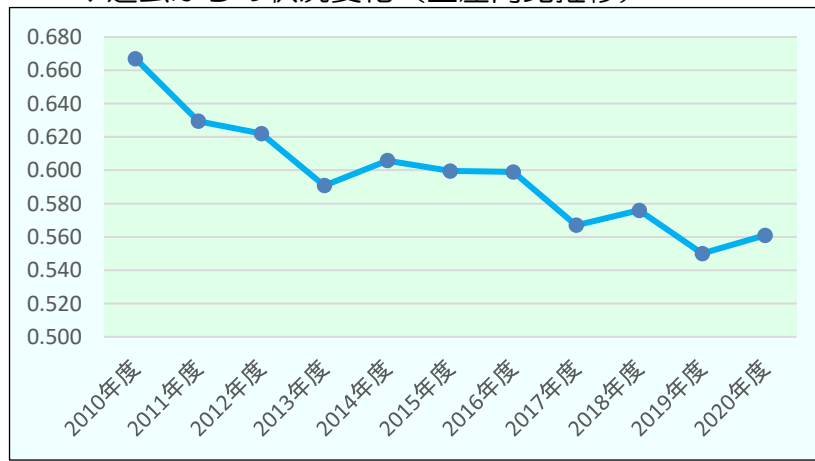
●結果：

- 工場照明のLED化、多量エネルギー使用設備の溶解炉運転方法改善による効果を見込めたものの、生産減に対応したエネルギー使用量削減が出来ませんでした。

◆過去からの状況

	エネルギー使用量（原油換算 キロリットル）				生産高比
	玉城工場	伊勢工場	ドアクローザ	伊勢工場群 総計	
2010年度	4,289	1,465	938	6,692	0.667
2011年度	4,100	1,267	930	6,296	0.629
2012年度	4,051	1,293	913	6,256	0.622
2013年度	4,239	1,171	959	6,369	0.591
2014年度	4,252	1,129	918	6,298	0.606
2015年度	4,323	992	844	6,159	0.600
2016年度	4,892	379	898	6,169	0.599
2017年度	4,948	354	908	6,210	0.567
2018年度	4,799	338	883	6,020	0.576
2019年度	4,771	323	702	5,796	0.550
2020年度	4,430	267	521	5,218	0.561

◆過去からの状況変化（生産高比推移）



《工場排水/水質汚濁》 目標に対する結果（Ⅱ）

【年度環境目標】

水質汚濁を定められた値（協定値）の60%にします。

◆玉城工場

工場の排水口における毎月分析した結果の平均値を示します。

分析は外部の計量証明機関で実施し、単位はmg/l

	健康項目			生活環境項目（金属類）				生活環境項目					
	6価クロム	全シアン	ジクロロメタン	全クロム	銅	亜鉛	溶解性鉄	BOD	COD	SS	ヘキサン	全窒素	全リン
水質汚濁防止法	0.5	1	0.2	2	3	2	10	120	120	150	5	60	8
協 定	0.05	0.05	*	0.1	0.05	1	0.5	10	10	5	1	10	1
測定値平均	不検出	不検出	不検出	不検出	0.03	0.29	不検出	0.4	1.8	不検出	不検出	1.3	不検出

●結果と対応

- ・利害関係者との協定値を上回ることはありませんでした。
- ・過度な薬品投入は、他の項目に弊害を発生させることから薬品投入量の適正管理を実施します。

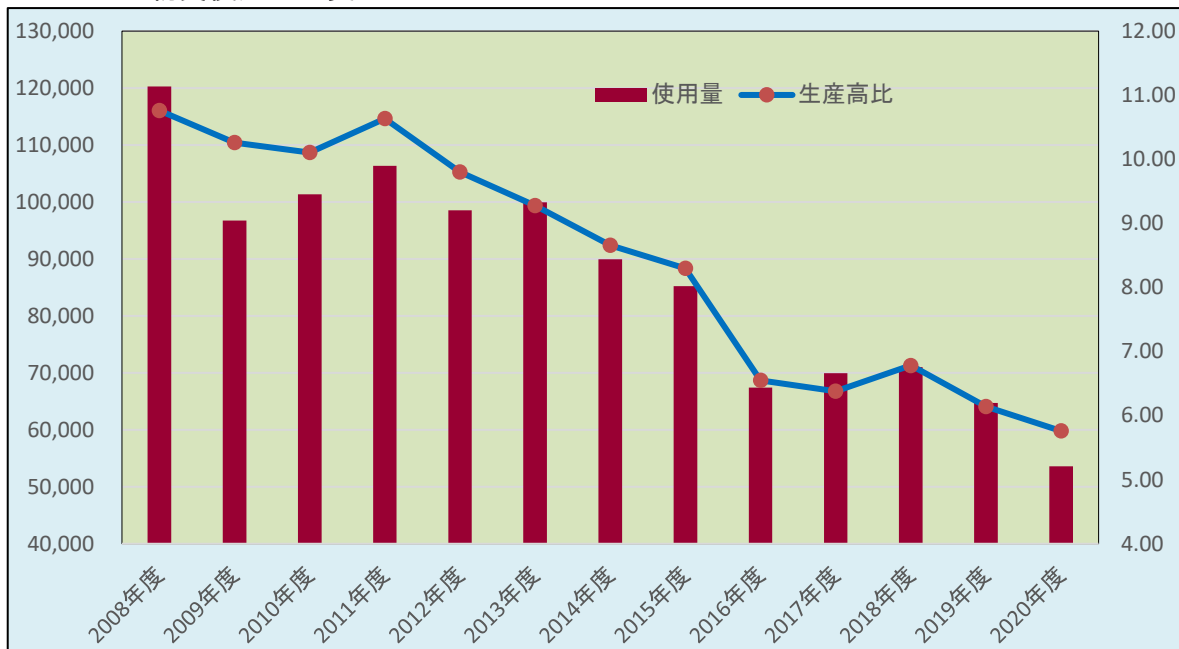
《PRTR物質の削減》 目標に対する結果（Ⅲ）

【年度目標】 P R T R物質使用量の削減 ≪基準年度より8.0%削減（生産高比）≫

◆目標に対する結果（伊勢工場群全体）

	使用量 (kg)	目 標	目標生産高比	結 果		
				生産高比	削減率	
2019年度(基準)	64,691	(基準)	6.14	*	*	*
2020年度	53,588	-8%	5.65	5.76	-6.3%	目標未達成
2021年度		-32%	4.18			
2022年度		-33%	4.12			

◆PRTR物質使用量の変化



●結 果

- 使用比率の高い生產品の減産による目標設定を行い取組みましたが、削減量が目標値にとどきませんでした。
- 塗装装置の改善による効果がありました。

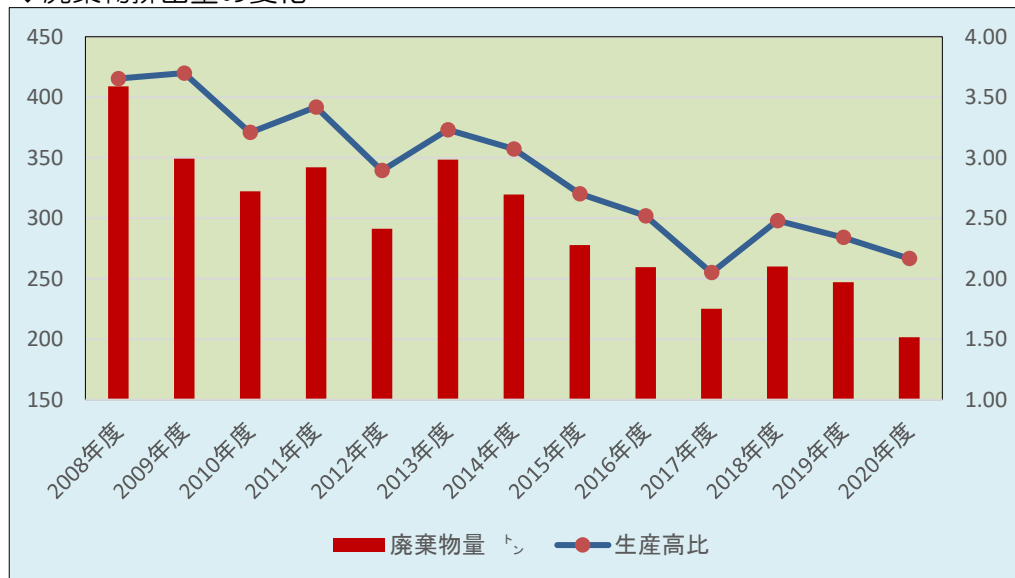
《廃棄物の削減》 目標に対する結果（Ⅳ）

【年度目標】 廃棄物の排出量の削減 ≪基準年度より4.0%削減（生産高比）≫

◆目標に対する結果（伊勢工場群全体）

	特別管理 産業廃棄物	産業廃棄物	一般廃棄物	合計	目 標		目標生産高比	結 果		
	トン	トン	トン	トン	計画時	修正値		生産高比	削減率	
2019年度(基準)	5	158	84	247	(基準)	*	2.34	*	*	*
2020年度	5	120	77	202	-4.0%	-4.0%	2.25	2.17	-7.5%	目標達成
2021年度					上方修正 -7.0%	-8.5%	2.14			
2022年度					-10.0%	-10.0%	2.11			

◆廃棄物排出量の変化



●結 果

- 産業廃棄物は、塗装ブース汚泥の処分方法を資源化処分へ変更し削減しました。
- 一般廃棄物は、ペーパーレス化による減量や一般廃棄物のプラスチック類を資源化処分へ変更し削減しました。

3年計画の2年次のみ目標を上方修正し、目標最終年度は、初期計画とおりの目標とします。

《地域社会への貢献活動》

2020年 活動

- 玉城工場近くの田丸城址の美化活動参加いたしました。
- 工場周辺の清掃活動を開催いたしました。



田丸城跡の活動風景
(写真は2018年10月風景)

